

花畑川を考える会(第6回) 議事概要

日時:令和6年7月2日(火)

午後6時～午後8時

場所:佐野地域学習センター

レクリエーションホール

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 会員の変更と前回の議事概要について(資料1、2)
- 4 議題(資料3)
 - (1)現在の工事の状況
 - (2)散策路の整備内容について
 - (3)富士見歩道橋及び周辺護岸の整備イメージについて
- 5 閉会

主な意見等

項目	意見(会員)	回答(事務局・会長)
前回(第5回)の 議事概要の説明	・特に意見はありませんでした。	
議題(1)～(3) 散策路工事について	・家屋調査の調査はいつから始まるのか。 ・コンクリート護岸切断(花畑川環境整備その1既設護岸上部撤去工事)の完了時期はいつなのか。 ・令和7年度完成予定の緑地、舗装整備が完成し、歩けるようになることを楽しみにしている。具体的な完了時期はいつなのか。 ・切断したコンクリート護岸の上に横断抑止柵を設置するのは、いつなのか。	・令和6年7月中旬から行います。 ・工事期間は令和7年2月7日までですが、12月頃には概ね完了している予定です。 ・現時点で、具体的な完了時期は、お伝え出来ませんが、早期完成に向けて設計を進めてまいります。 ・舗装、緑地整備に合わせて設置します。

散策路の整備内容について	・横断抑止柵と植栽を植えている箇所を交互に配置にしているが、どのような考えで設計しているのか。 ・転落抑止柵は安全を第一に考えた形状にしてほしい。 ※ 当日は縦柵と横柵の実物を用意し、出席者の皆様と一緒に確認いたしました。 ・イベントを開催できるスペースとあるが、どのようなイベントが開催されるのか。	・植栽は横断抑止柵と同じ効果を期待しています。区内の公園でも同様な事例もあり、河川の景観デザイナーからも必ずしも柵を設置する必要はないとアドバイスをいただいています。 ・本日、多数のご賛同をいただいたとおり、転落抑止柵は縦柵のものを整備いたします。細かい形状については専門家の意見や安全性を考慮し決めてまいります。 ・具体的なイベントは決まっていますが、地域の方の積極的な利用を期待しております。
富士見歩道橋及び周辺護岸の整備イメージについて	・新しい富士見歩道橋は現在の道路の高さと同じにすれば、通行しやすくなるのではないかな。 ・階段護岸の形状は河川に平行ではなく、河川に垂直にしてもいいのではないかな。 ・水面の近くに降りられる施設を整備するが、施設の活用や安全管理はどのように考えているのか。 ・現在の富士見歩道橋は、自転車がそのまま飛び出したりしている。新しい富士見歩道橋ではどのような対策を行うのか。	・橋の下面が護岸高さより高くしなければならぬため、整備イメージのように可能な限り周辺道路と高低差が生じない設計にしていきます。 ・その1工事区間では、散策路幅が狭いため、河川に平行な階段護岸となってしまいます。その1工事区間以降では、形状を変えた整備も検討してまいります。 ・管理の仕方として①「いつでも降りられる施設」②「利用時のみ降りられる施設」のどちらかになります。安全を一番として、皆様の意見を伺い、決めていきます。 ・注意喚起の看板の設置や、自転車を降りて通行してもらえよう物理的対策などを検討していきます。

富士見歩道橋及び周辺護岸の整備イメージについて	・富士見歩道橋の架け替えのタイミングで散策路にトイレを設置できるよう下水管を設置できるのではないか。	・散策路のスペースが不十分なため、トイレの設置は行いません。また、次の工事区間以降も散策路にトイレを設置は行わず、周辺の公園と機能連携を検討してまいります。
次の工事区間以降の計画について	・花畑川には水鳥なども来るので浮島などの自然生物のための施設は設置しないのか。	・過去にも議論があり、技術上設置は可能ですが、花畑川というまっすぐな河川ではなじまないため、現在の計画では設置しないことになりました。
その他	・検討を繰り返すのではなく、着実に整備を進めてほしい。 ・花畑水門と六ツ木水門を閉鎖して工事を行っているが、大雨などの影響で花畑川が氾濫する危険性はないのか。 ・工事期間中の花畑川の水の流れは確保しているのか。 ・月見橋、雪見橋、富士見歩道橋と続いているため、桜木橋を桜見橋と名称を変えてほしい。	・早期整備を目指し、引き続き取り組んでいきます。 ・花畑川は、真上に降った雨だけが溜まるため、想定最大降雨量からしても、溢れることはほぼ無いと考えています。 ・東から西へ水を送るために水中ポンプなどを設置して、花畑川の水の流れを確保しています。 ・名称の変更には、看板類の変更等多額の費用が必要となる。変更を検討するにしても地域の総意として提案いただく必要があります。